

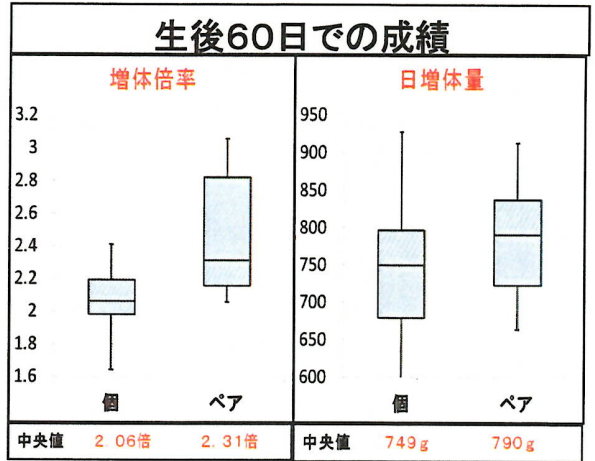
ペアハッチ 2

子牛を2頭で飼うことのメリット

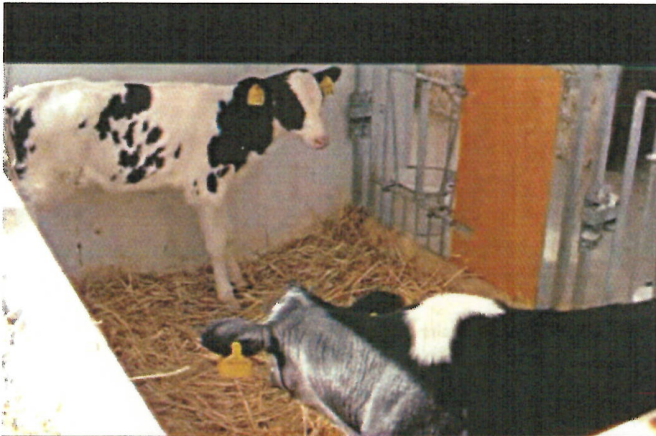
トータルハードカーフサービスでの研究

前月号では「子牛をペアで飼うことで成長に優れていた」
「その効果はスターターの食い上がりのスピードに秘訣がある」
「病気の発生は増えない」という報告をしました。

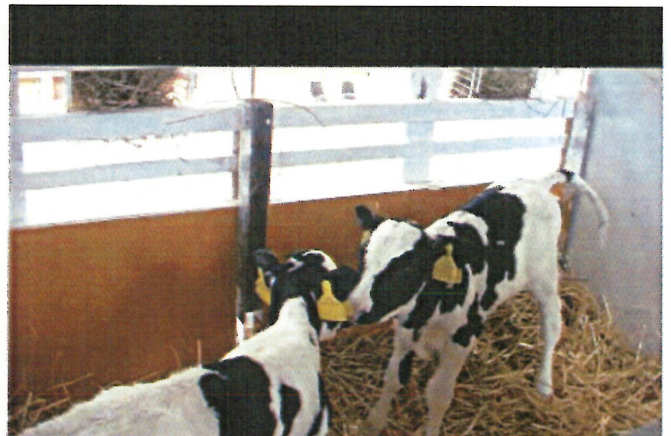
では**ペアにするタイミング**はいつ頃がいいでしょうか？
ブリティッシュコロンビア大学のキーサリンク博士の報告では
「しばらくしてからペアにしたものに比べて、出生後早めにペアに
したものの方がスターターの食いはじめと食い上がりの早さで
優っている」と報告しています。そして「そのメリットを得るには少
なくとも6週令以内にペアにする必要がある」としています。



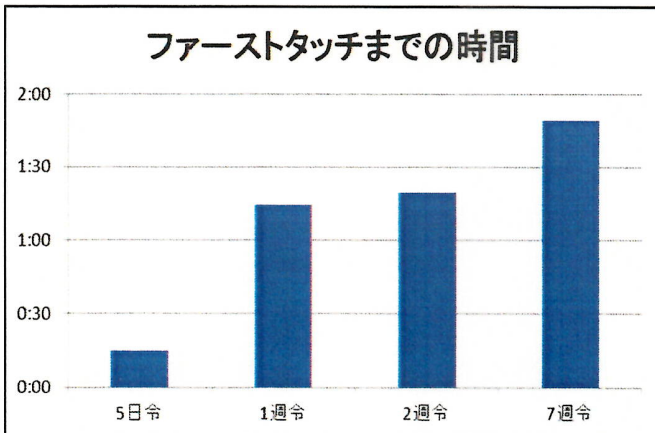
ペアにするタイミングとネオフォビア 新しいものを見たり経験する時の恐怖行動を「ネオフォビア」といいます。このネオフォビアは本能的なものではなく、生後経験的に獲得する行動です。つまり生後時間が経つにつれネオフォビアは強くなる傾向にあり、それまで単独飼育されていた子牛が離乳と共に急に群飼されたときにはネオフォビアの影響により採食量の低下などのストレス行動が出やすいと言われています。



生後3週間経ってからペアにした子牛
お互いに初めて牛という動物を見た瞬間、警戒心MAX！
慣れるまで数十分かった。



生後5日目でペアにした子牛
目があったらすぐに触れあって、アッという間にお友達に。
人間の子供でも同じですね。



左のグラフはペアにした瞬間から相手を認識して触れ合うまでの時間(ファーストタッチ)を測定したものです。この様に出生後早めにペアにする方がネオフォビアは少なく、馴れ合うまでの時間が短い傾向にあります。「スターターの食い始め」「ネオフォビア」の両方の視点から、ペアにするなら**早い時期の方が良い**ようです。カーフサービスでは生後7～10日をめどにペアにするようにしています。

次号に続きます。